



令和4年7月

川越市教育委員会地域教育支援課

19年目の子どもサポート事業スタート

平成16年度に2地区をモデルとして始まった子どもサポート事業が、19年目を迎えました。今年度は、対面で第1回子どもサポート委員会が開催された地区も増えてきました。各委員会で、組織の編成と今年度の活動内容、予算等が確認されました。

今後、ガイドラインに基づき、感染拡大防止を第一としつつ、各地区の特色を生かした子どもサポート事業がそれぞれの計画に基づいて展開され、学校や地域で子どもたちが生き生き活動できますように、皆様の更なるご協力をよろしくお願いいたします。

このサポート新聞「ひと、ホット、ほっと！」では、本事業に係る会議等、および各地区の活動の様子についてお知らせします。



南古谷地区「田植え」

川越市子どもサポート本部会議の概要

5月24日（火）に、令和4年度第1回の川越市子どもサポート本部会議が、川越市北公民館で開催されました。今年度は本部委員の任期の2年目であることから、本部長は引き続き、東京国際大学の遠藤克弥氏が務めます。

また、令和4年度の川越市子どもサポート事業について、以下のとおり確認と協議を行いました。

- ① 令和4年度「川越市子どもサポート本部会議」について
子どもサポート事業に関する総合的な啓発や各地区子どもサポート委員会との調整を図る。

- ② 令和4年度の川越子どもサポート発表会について

・川越子どもサポート発表会実行委員会組織について

実行委員長、遠藤克弥氏のもと「審査部」「運営部」「展示部」の3部会を組織する。

・令和5年2月4日（土）午前実施（9：15受付、9：30開会予定）

・会場：やまぶき会館

・内容：「小江戸見つけ隊」の金賞作品の発表及び表彰、12地区の活動紹介（スライド）

代表地区（古谷・福原）の実践発表、指導講評

- ③ 子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」について（応募等は右ページ参照）



子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」

作品の募集について

【コンクールの趣旨】

- ①自分が住んでいる地区の様子について体験を通して感じたことを作文や絵画、新聞に表現し、各地区の良さを再認識できるようにする。
- ②子どもたちと地域とのつながりを一層深め、地域ぐるみで子どもたちを育てていく意識を高める。

【募集は、3部門】

- （1）作文の部・・・B4版400字詰め原稿用紙3枚以内
- （2）絵画の部・・・四つ切り画用紙、縦・横の向きは自由
- （3）新聞の部・・・B4版・縦長1枚、写真等を用いるのは可とするが、写真のみの作品は不可、パソコン等での作成も可

【出品規定】 出品作品・・・未発表のもの

出品点数・・・一人1部門につき1点まで

出品資格・・・川越市内小中学校児童・生徒

【募集期間】 令和4年8月30日（火）～10月21日（金）

【応募方法】 各学校もしくは地域教育支援課へ提出

- | | |
|-----------|--|
| ○金賞作品の表彰 | 川越子どもサポート発表会《令和5年2月4日（土）》において |
| ○入選作品の展示 | やまぶき会館《令和5年2月4日（土）発表会当日》 |
| ○全応募作品の展示 | 川越市立美術館《令和5年2月15日（水）～19日（日）》
9時～17時（最終日は入場14時半まで、展示15時まで） |

※各小中学校にも募集要項を配布してあります。

新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインについて（抜粋）

- ① **三密の徹底的な回避**（一定数以上の参加者・スタッフの制限、会場の分散、対人距離の確保）
※ 屋内・屋外ともに会場収容率50%以内、
※ 参加者数が200名を超える場合には事前に地域教育支援課へ通知
- ② **感染防止の対策の実行**（検温、消毒、せきエチケット、動線のすみ分け）
- ③ **安全のための設備整備**（飛沫遮断対策、体調不良者用の隔離スペースの確保）
- ④ **安心に向けた工夫**（スタッフのローテーション制や担当校制、参加者・スタッフの連絡先把握）
- ⑤ **しない、させない**（体調不良時の参加、長時間の活動、飲食が伴う活動、飲食物の提供）
- ⑥ **極力制限**（閉鎖空間での活動、マスクの着用）
- ⑦ **重症化リスクに配慮**（年齢や持病の有無によるスタッフの配置調整）
- ⑧ **新しい活動方法に向けた努力**（書面会議の活用、web会議の活用、活動内容の見直し）

各地域の活動の様子をお伝えします

山田地区 山田小学校「田植え」

5月25日（水）に、山田小学校の5年生の児童が田植えを行いました。子どもサポート委員の皆様、田植えのやり方を丁寧に教えていただいたおかげで、子どもたちは一生懸命取り組むことができました。



名細地区 広谷小学校校庭樹木剪定作業

5月28日（土）に、青少年を育てる名細地区会議と共催で、広谷小学校の校庭の樹木剪定作業を実施しました。30名を超える地域の皆様に協力していただき、校庭がきれいになりました。



名細地区 世代間交流子どもサポート事業「さつまいも植え付け祭」

6月4日（土）に、鯨井自治会と共催で実施しました。広々とした畑で、一家族で1区画ずつ、苗を植えました。これから、草取りやつる返しなどに取り組みながら、秋の収穫を楽しみにしています。



南古谷地区 農業体験（田植え）

6月5日（日）に、牛子小学校と南古谷小学校の児童と保護者が、田植えを行いました。感染防止に配慮し、各小学校の定員を30名として、2部制で実施しました。子どもたちは、泥んこになりながらも、楽しく取り組むことができました。



霞ヶ関地区 霞ヶ関南小学校「田植え」

6月14日（火）に、霞ヶ関南小学校の5年生の児童が、田植えに取り組みました。子どもサポート委員の方々が、交通安全指導と田植えのお手伝いを行いました。子どもたちは、泥んこを楽しみながら、一生懸命に取り組むことができました。



「学校応援団活動」と「地域の特色を生かした活動」の紹介

中央北地区 まが玉づくり

6月25日（土）と7月2日（土）に、北公民館を会場として、子どもたちが「まが玉」づくりを行いました。市立博物館の先生方や子どもサポート委員の皆様、田植えのやり方を丁寧に教えていただいたおかげで、子どもたちは一生懸命取り組むことができました。



山田地区 藍染め

7月2日（土）に、山田公民館を会場として、子どもたちが「藍染め」に取り組みました。藍染めサークルの方々や子どもサポート委員の皆様、田植えのやり方を丁寧に教えていただいたおかげで、子どもたちは、美しい染め上がりにとってもうれしそうでした。



名細地区 子どもサポート講演会

7月3日（日）に、名細公民館を会場として、埼玉医科大学産婦人科の高橋幸子先生による講演会を開催しました。

「男の子にもぜひ知ってほしい！女の子のからだところろ～月経をきちんと知るところから始めよう～」をテーマにお話しいただきました。



親子で参加していた方々が多く、大人も子どもも真剣に聞いて学ぶことができました。

川越子どもサポート事業 第1回代表者会議

6月23日（木）に、川越市役所教育委員会室において、子どもサポート代表者会議を開催しました。

各地区の活動状況や課題について、グループに分かれて、情報交換を行うとともに、協議を行いました。

各地区の子どもサポート事業を進めていくにあたって、有意義な会議となりました。

